

私は仕事柄、非常に多くの経営者や個人の方とお会いします。皆さんにもおそらく経験があるかと思いますが、まれにオーラを感じる大変素晴らしい方がおられます。

また、オーラとまではいかないものの、この人は明らかに優秀だと思えるような方も数多くおられます。例えば経営者であれば、この人はすごい！ もっともっと大きくなるに違いない、と思えるような方。個人であれば、その会社でめきめきと頭角を現すに違いない、将来会社をリードする人材だ、と思われる方がおられます。このような人たちに共通して言える

座

標

特徴があります。それは「人間力」です。この人間力がある人には、自然と周囲から人が集まり自分の味方をしてくれます。

そのため、良い情報や自分の知りたいと思っていた情報が集まるので、経営者であれば事業が成功し、個人であれば仕事でうまくいきます。そして、人が集まれば自然とリーダーとしての資質が備わり、将来を担う人物となりえます。このように「人間力」は最も大切な能力ですが、どうすれば磨くことができると思いますか？ 人それぞれ考えがあるかと思いますが、私は次のように考えております。人間力の形成に最も重要なことは「仕事」です。人間が生きていく上で最も大きな割合を占めるのは仕事です。人間は仕事を通じて成長します。ですから、仕事を通じて人間力が磨かれるのはごく自然なことです。

ここで大切なことは、ただ仕事をするだけでは人間力が向上しにくいということです。なぜ働くのか、いかに働くのが重要ですか？ 皆さんはなぜ働くと思いませんか？ 私は人間として成長するために働く、心や精神を高めるために働くと考え

『人間力』磨くには

働く 考える 仕事の意義

えます。日々勉強と反省を繰り返して、一生懸命自らの成長のために働いていますと、必ず大きな成長のチャンスと出会うことができます。「仕事の報酬は仕事」というように、自分をより大きなステージに引き上げてくれるのは自らの仕事なのです。

また、仕事を好きになり一生懸命働くことも重要です。例えば、上場企業の多くは小さなベンチャー企業から始まりました。それらの企業が大きくなれたのは「仕事が好きで好きでたまらない人」や「志を持ち、実現するまであきらめない人」「仕事のための苦労はいとわない人」

ヒューレックス代表取締役

松橋 隆広

(仙台市)

が多く集まり、一心不乱に働いたからにほかなりません。そうした企業の経営者は人格者が多く、人間的魅力にあふれています。多くの方が支持する松下幸之助さんなど著名な経営者はまさにそんなのではないのでしょうか。

今、世の風潮は、余暇を楽しむ、ワークライフバランスという方向に向かっております。それ自体は良いことかもしれませんが、そうした流れの中で人間力を磨く機会を失ってしまうことも多いのではないのでしょうか？

経済環境が悪化し厳しい時代にあっても、輝いて活躍している人は皆、人間力にあふれています。人間力のある人は、人を感動させる人でもあります。人を感動させることのできる人はどのような場面においても生き抜く力を持っていると私は思います。人間力は決して学歴や職歴ではありません。誰もが磨くことができる力です。最近、この不況を何として乗り越え、自らの目標を達成するため、無我夢中になって働く人を多く目にします。これからの時代、人間力の高い人が数多く出現し、時代をリードしていくと期待しております。